

平成28年度行政事業レビューシート ( 総務省 )									
事業名	映像等近未来技術活用促進事業			担当部局	情報流通行政局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	情報流通振興課 情報流通高度化推進室 情報利用促進課			課長 今川 拓郎 室長 吉田 宏平 課長 御殿 祐司	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	総務省設置法第4条第76号			関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定) 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) 世界最先端IT国家創造宣言工程表(平成27年6月30日IT総合戦略本部決定) 地方創生IT利活用プラン(平成27年6月30日IT総合戦略本部決定)				
主要政策・施策	高齢社会対策、IT戦略			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療分野をはじめ利用者ニーズを踏まえた4K・8K技術の社会実装を加速し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において世界最先端のICT技術の一つとして発信することで、世界における我が国の技術優位性を確立するとともに、遠隔医療の質の向上等を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 8K技術を活用した遠隔医療に必要な技術検証 衛星通信によるリアルタイム性(伝送遅延の有無等)の検証や遠隔医療(病理診断等)に必要な水準の映像再現性の検証等を通じた最適技術の確立 ② その他の分野における4K・8K技術等の活用に向けた調査研究 教育など他の分野における4K・8K技術等の活用可能性を調査								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	99	0		
	執行額	-	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度
	平成32年度までに、医療をはじめとする産業分野における4K・8Kサービスの経済波及効果(億円)/予算執行額に対する比率B/C)を拡大する。	4K・8Kサービスの経済波及効果(億円)/予算執行額(億円)	成果実績	倍	-	-	-	-	-
			目標値	倍	-	-	-	-	6
			達成度	%	-	-	-	-	-
定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標最終年度	
平成28年度中に、4K・8K技術等を活用したICTシステムのモデルを構築する	モデルの件数	成果実績	件	-	-	-	-	-	
		目標値	件	-	-	-	-	1	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	実施プロジェクトの件数	活動実績	件	-	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	1		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	単位あたりコスト = 執行額/実施したプロジェクト件数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	99		
		計算式	百万円/件	-	-	-	99/1		

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由	
	諸謝金	1	0		平成28年度で終了するため。
	委員等旅費	1	0		
	職員旅費	0.4	0		
	情報通信技術研究開発調査費	96.6	0		
計	99	0			

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	V. 情報通信 (ICT 施策)							
	施策	2. 情報通信技術高度利活用の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
		医療・介護・健康分野におけるICTを活用したICTシステムに関する技術仕様等の策定、モデルの確立<アウトプット指標>	実績値	件	-	-	9	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	11
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	8K技術を活用した遠隔医療に必要な技術検証等を実施することにより、その成果を踏まえた8K技術を活用した遠隔医療等モデルの普及展開につながり、医療・教育資源の不足・偏在などが解消されることとなるため、ICT活用により社会課題の解決を推進することに寄与する。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
		成果実績			-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	
達成度	%			-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
	成果実績			-	-	-	-	-	
	目標値			-	-	-	-	-	
達成度	%			-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									
-									

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、超高齢社会に突入した我が国が直面している生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な社会的課題の解決に寄与するものである。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、超高齢社会に突入した我が国が直面している生産年齢人口の減少や医療費の増大等、様々な社会的課題の解決に寄与するものであることから、国民のニーズに応えるべく、国が実施すべき事業である。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、日本再興戦略、世界最先端IT国家想像宣言、健康医療戦略に盛り込まれていることから、国費を投じて国が実施する優位性の高い事業である。

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	本事業は現時点では執行前であり、記載は困難。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果					
	改善の方向性					
<b>外部有識者の所見</b>						
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>						
<b>備考</b>						
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0009	

